



ゆりぐみ

1・2月



“ひとり”ではできないこと…

新年を迎えて早々にあった、ゆりぐみの“お楽しみクッキング”！ 今までのクッキングと一味違ったのは、みんなが作らないと、今日の給食のおかずがない！ということ。進級してからの朝のお手伝いで積み重ねてきたローラーも使って、ゆりぐみみんなで作上げた給食の一品は味も格別(!?)。同じ献立といえど、お味に(笑)「おい!」「おかわり!!」続出となった。クッキングとなりました。

ゆりぐみ大豆をつぶして作る、“保存食クッキング”第2段の“おぼろ汁”もありました。一人ひとり、一粒ひとつぶつぶした大豆を決めて、一つの坪に入れておいて、仕上がるのは約9ヶ月後…。「豆なのに味噌!?’と、想像の追いつかない(笑)姿を見せていました(笑)。それでも「みんながまじに作った時のまじの味噌」という言葉に、「みんなのお味噌がおいしくできていますよね」と、思わぬ願う様子が可愛い、子どもたちでした。

さて、12月に「ゆりぐみの発表会」をみんなでお話し合い、内容を決定してから、歌、お太鼓、劇あそびを繰り返し、楽しみながら取りこんできました。お太鼓は“グループの友だちとだけで”叩く場面があったり、劇あそびでは“4人の友だちと一つの役をする”という場面もありました。それぞれが楽しく参加することは大前提としてありますが、「こーゆー」でイキを合わせていたり、顔と互いに見合わせて笑ったり、自分だけではな、誰かと一緒に一つのことを行い瞬間、がたくんあった毎日でした。中でも劇あそびは、役が固定するまで何日も“劇こころ”をして役を交替して通んで来たのが、「今回の(脚)役”をみんなでお話し合いやで”ハヤシ、クレネ、おま、小鳥、魔女、どの役がなくなっても劇こころはできななんだよ」と伝えてきました。一人ひとりの“やりたい”はありつつも、「みんなと一緒に助け合わなければ、大きな一つのことはできななんだ」ということを、発表会への取り組みを通して感じてくれているかな、と思います。

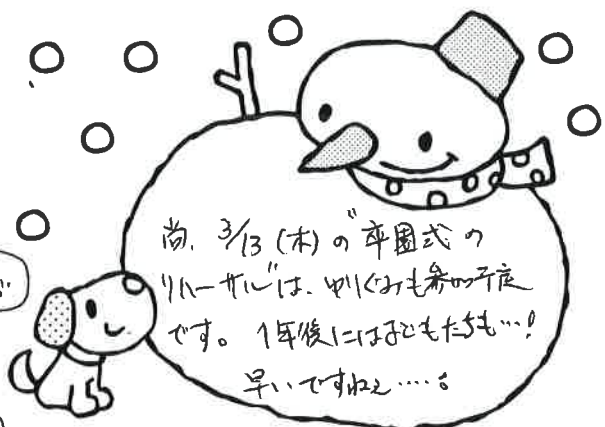


当日は、見どころ取りお話しや、早くで終わるのドキドキの準備までたくさん協力しながらも、お休みなしたお友だちの分も一生懸命に、精一杯の姿を見せてくれた子どもたち！ また子どもたちが大きく見えた一日でした(笑)



おしらせ etc...

- 2/17(月) ~ 2/23(日) ゆりぐみに美習生が入ります。
- 2/18(火) 『ゆりぐみ 打ちあけ(1?)クッキング』クッキー作りま〜す。
- 2/1(土) 『クラス懇談会』(AM)
…ゆりぐみで最後の懇談会です。たくさんのお参加を待っています(笑)
- 2/31(月)、2/1(火) “年度末・はじめ希望保育” ※後日出欠をとりぞして頂きます。全日お休みの日です。



尚、2/13(木)の卒園式の「リハーサル」は、ゆりぐみ参加の子です。1年後には子どもたちも…！ 早いですね…。